



ご意見は次のeメールアドレスへ
公式HP & ブログは次のURLへ

sky@nagahata.jp
http://nagahata.jp

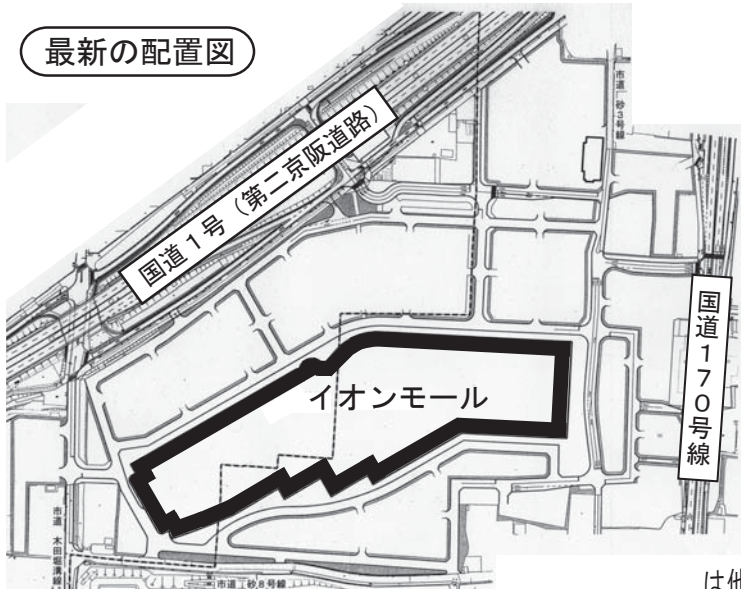
phone : 072-878-3205
fax : 072-877-1194

こんにちは、市政報告です！

10月5～7日は、正副議長で鹿児島市へ全国都市問題会議に出席。11月1, 2日は総務建水消防常任委員会で宮崎市へ地域コミュニティの視察。秋は勉強も加えての活動です。

「イオンモールの新情報」について

最新の配置図



8月25日、イオンモール株から開発計画概要等の提出が本市に対してありました。その頂いた書類ですが「長畑ひろのり News46号」より詳しくなった配置図がありましたので掲載させていただきます。この配置図を見ますと、敷地内の駐車場や道路の概要が判断できるようになってきました。

また、開発計画概要の中に予定建築物の項目があり、その中に、当初の計画時にのみあったシネマが復活していました。「長畑ひろのり News47号」にも書いたように、つい最近オープンしたイオンモール大和郡山においても、オープン後にシネマ部分が増設されている例があります。(仮称)イオンモール四條畷でも、現段階で過去の計画より消えていたシネマの再検討がされていると言うことは、可能性が高いと考えても良いのではないのでしょうか。

また、現在の状況ですが、8月23日より重機による埋蔵文化財の発掘調査が行なわれています。この調査は平成24年12月末まで続きます。

「議員定数」について

6月23日の本会議において2つの特別委員会が設置され私は「議員定数及び報酬等特別委員会」の委員となりました。この特別委員会は公開で月に2回開催される予定で、うち1回は夜の7時から開催されていますので、傍聴にお越し頂きたいと思います。日程等につきましては、月ごとに議会事務局へお問い合わせ下さい。(市役所代表電話 072-877-2121)

今回、特別委員会において主に議論されますのは、議員定数、議員報酬、政務調査費、審議会委員報酬の4点です。すでに審議会委員報酬につきましては支払わない事とし、9月議会において議員提出議案として上程され可決しました。そして、現在議論されているのが議員定数です。私は、私の考えに所属する会派の方針を加え、主に下記内容を発言させて頂きました。

他市と議会を形成している一部事務組合の派遣議員が14名との観点から、他市へ迷惑をかけない点においても2名削減しかできないのではないかと。他の委員が言われる様に他市と比較をするが、人口比に対しては他の統計も同じで、同規模の中で考える必要がある。5万人未満、10万人未満と言う様に。そこで、府内の10万人未満の範囲で、また例を絞る為にも特に本市に近い人口と言う事で5万人台のみから検証する。表を見て頂ければわかると思うが、どこも議員1人当りに対して人口3千6百人前後であり、人口比のみを考えれば今の16名で特に問題

市名	人口	議員数	議員一人当り
大阪狭山市	57,619人	15名	3,841人
阪南市	58,142人	16名	3,633人
高石市	59,756人	17名	3,515人
四條畷市	57,437人	16名	3,589人

があるとは思えない。面積比については、同様に府内人口5

市名	面積	議員数	議員一人当り
大阪狭山市	11.86km ²	15名	0.79km ²
阪南市	36.10km ²	16名	2.26km ²
高石市	11.35km ²	17名	0.67km ²
四條畷市	18.74km ²	16名	1.17km ²

万人台を検証すれば、議員一人当り0.67～2.26km²

と3.4倍もの開きがある。本市は山が多いとはいえ、この点を考慮しても3.4倍の開きの中から大きくはみ出す事はないと考える。また、市としての環境があまりにも違いすぎ、面積比については議論する必要がないと言えるのではないかと。

四條畷市を何名の議員が精一杯努力し頑張れば市民の方々が満足する市にすることが出来るのか、また、議員活動にご理解を頂くことが出来るのか。つまり、議員一人ひとりのやる気で議員定数を決めていくしかないのではないかと。

そこで、この財政状況の中、議会費を少しでも下げるべく、全議員が今以上に働く事を前提に、私の所属する畷市民クラブの意見として、6名の削減とし10名の議会体勢で望む決意である。しかし、この案がパフォーマンスではないと市民の皆様にご理解頂く為にも、我々会派の案に一番近い四條畷維新良政会の4名削減案に歩み寄り4名削減とさせて頂く。

・・・以上が議員定数について9月時点での考え方です。議員定数につきましては市民皆様方のご意見をお聞かせ下さい。

「小水力発電」について

9月15日、文化観光協議会の水野会長からご意見を頂きました。内容は、権現川で小水力発電を使って外灯等の設置

は出来ないだろうかと言う事です。私も岡山地区と砂地区との境界の水路等3箇所、なわて水みらいセンターの処理水が農業用水として大量に送られているのですが、それを見ながら、イオンが決定した現在もうこれだけの農業用水は必要でないかと、使い道を模索していた所でしたので、

水野会長とは前向きな話しが出来ました。その後で調べますと、右画像の水路に

設置する小水力発電装置に外灯がセットされたキットが税別82,500円で販売していました。わずかな水量で発電が可能で、屋間は蓄電池に電力をためる等の工夫をし、災害時を含む防犯灯として活用できないでしょうか。

さて、権現川に水力発電を設置するとすれば、景観や観光的にも配慮しなければならないでしょう。2010年11月10日のasahi.comと言うネットニュースにおいて、「地域に明るさを取り戻そうと、みやこ町犀川上伊良原の住民たちが水車による水力発電に挑戦している。・・・」の記事がありました。その記事に掲載されていたのが右上の画像です。また、その記事の3日前にも「JR岡山駅と市役所を結ぶ“市

役所筋”や市中心部を流れる西川の緑道沿いを“エコ通り”に定め、環境施策を重点的に実施する岡山市の構想が本格的に動き出した。水車発電の実証調査が8日に始まるほか、街灯を省エネ型に交換する準備も進んでいる。

・・・と書かれているなど、多くの自治体が水力発電に取り組んでいます。

四條畷市も毎年恒例の「なわて打ち水大作戦！」と称して市内一斉に打ち水と呼びかけたり、また、JR忍ヶ丘駅前等、市内3箇所ですでに打ち水を実施しています。しかし、これ以上の広がりを期待するのは難しいと思います。そこで、打ち水に使用している水も“なわて水みらいセンターの処理水”であるならば、もう少し踏み込んでエコでありながら観光にも繋げる事の出来る小水力発電に取り組んで頂きたいと思っております。

ちなみに、小水力発電には平成22年度まででしたら、新エネルギー等導入加速化支援対策費として補助金が出ていましたので、今後も常にアンテナを張っておく必要があります。

「東京研修の報告」について



8月24、25日に大東、寝屋川市の議員仲間と東京へ研修に行きました。研修場所は衆議院第二議員会館の会議室で24日は13時より4コマで4時間、25日は9時半より3コマで3時間の研修です。但し、私と寝屋川市の松本副議長とは、25日の15時半より木津川市で会議がありましたので、その日は2コマだけ受講し先に会議室を出ました。

受講した項目です。

- 24日 1. 再生可能エネルギーとその政策
- 2. 地方交付税の現状と課題について
- 3. 東海、東南海、南海地震について
- 4. 学校給食法について
- 25日 1. 介護サービスの基盤強化のための介護保険の一部改正について
- 2. 子供が育つ新システムについて

全て省庁で内容に直接関わっている方からの説明でしたので、質疑応答を含め内容の濃い研修でした。今後は、学んだ事を本市にいかすべく、改めて勉強をすすめていきます。



なわて水みらいセンターからの処理水



螺旋式ピコ水力発電機

ピコピカ

(組み立てキット LED街灯つき)